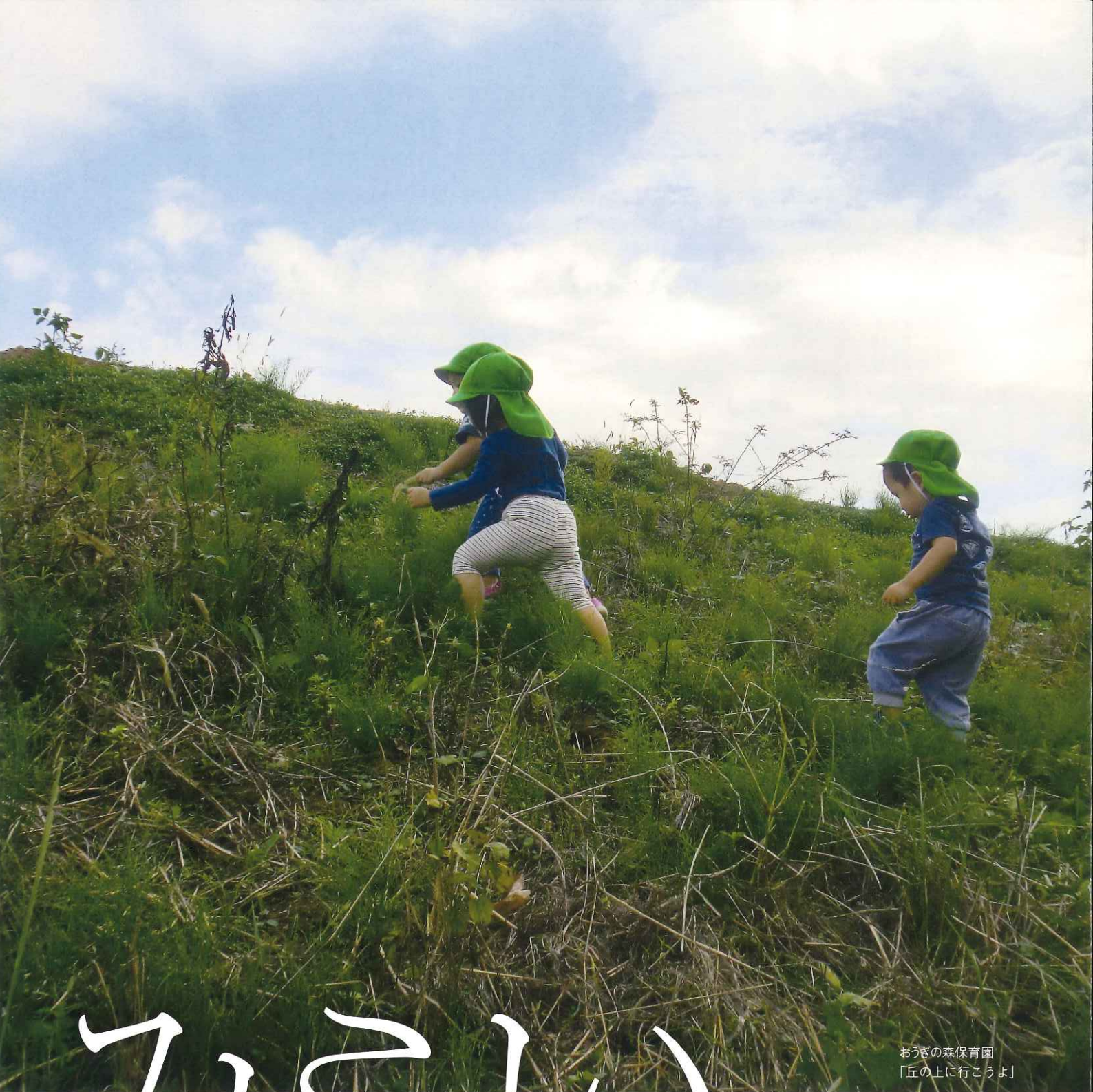




おうぎの森保育園
「丘の上に行こうよ」

みらい

2017.7

17

一般社団法人 さいたま市私立保育園協会 広報誌

Contents

保育の原点を振り返る …P2～3
改訂「保育所保育指針」を読む …P4
第9回定時総会・役員改選・新会員紹介…P5
平成29年度 部会計画…P6
わくわくが いっぱい!・編集後記…P7
保育園紹介…P8



保育の原点を振り返る

ここ数年保育業界に関わる行政の動き・保育の質の問題・職員の処遇改善・指針の改定等目まぐるしいものがあります。そこで、保育の原点とは何か、保育園の役割とは何であったかを今一度振り返りたいと思います。

そこで、長年家庭保育室をやっておられる西館保育園の西館英子先生とふたば夢保育園の遠藤悦子先生にお話をお伺いしました。



ナーサリールーム西館保育園 園長 西館英子先生

立ち上げるまでの経緯は

元々算盤教室を開いており、算盤塾指導後学校の宿題をやりながら母親のお迎えを待っていました。そんな中、当時の公立保育園は8時半から16時半までしか開いておらず、保育時間が短かったこともあり、無料で近隣のお子さんを預かるようになりました。公立の保育園に通う子も預かり、送迎もしていました。しかし、その頃は、専門的な保育の勉強をしたこともなかったので、どんどん預かる子どもが増えるにつれ、不安になり市役所に事情を説明しました。すると、「家庭保育室をしてほしい」と頼まれたのです。「家庭保育室は自宅で行わなければならない」とされていたため、所有していたアパートを改築しました。そして、「日赤病院」を定年退職された看護師さんたちに手伝っていただくことになり、家庭保育室をスタートしました。それからは保育の勉強を積みながら、家庭保育室を続け、旧大宮市から正式に指定を受けることになりました。

保護者の今と昔の違いは

昔は近所中で子どもを見守っていました。

本当に困った人が保育室に預けていましたから、保護者からは、「ありがとうございます。」と感謝され、その言葉に癒され、また頑張ろう！という気持ちになりましたね。

保護者の中には金銭面で困っている人が多かったのですが、皆、律儀で保育料は年を越さず毎日には払わなければ…とお金を工面するため年の瀬も仕事をしていて、なかなかお迎えに来ない方もいらっしゃいましたが、「仕方ないな～」と思いながらその子をおぶっていました。

今の保護者は、「お金を払っているんだから」という意識がなんとなく感じられます。育児書通りに従い、こと細かな要望を言われますが、到底無理なことなので、やんわりと流し、自然に園のやり方に合わせてもらっています。

園は昔から変わらないスタイルで子どもにも保護者にも接しています。園が保護者の言うことに振り回されていたら、子どもが可哀想ですね。

特に気をくばっていることは

最近はアトピー性皮膚炎をもつ子どもも増えているので安全な食材、健康的な食事に気を使っています。また、しつけも3歳までにはしっかりと行っていくことが大切です。当園でも基本的なルールはしっかり守らせるように心掛けています。

長く続けてこられた秘訣

子ども以上に自分が楽しんでいます。行事の時はついたくさんのお食事を作ってしまいます。親子2代で当園に通っているご家庭もあつたり、お孫さんの送迎をする卒園児もいます。卒園後も進学や就職・結婚・出産など、人生の節目になると顔を見せに来てくれたり、大人になっても相談に来てくれたり、あんなに小さかった子どもたちが、立派に成長している姿を見られて本当に感無量です。そんな喜びにこれからも出会うために、まだまだ辞められませんね。



家庭保育室の頃を思えば

私は33歳の時に保育士の資格を取ろうと思い立ち、専門学校に通い始めました。それは、私は子どもの頃から小さな子どもが好きで農繁期などには農家の赤ちゃんの子守をしたり、近所の子どもを4〜5人集めて、学校ごっこのような遊びをしながら、子守のお手伝いをして喜ばれたり、感謝されて、とても嬉しかった経験が潜在し続けていたのでしょう。「何か、人の役に立ち喜ばれる仕事をしたい」という思いに突き動かされたのだと思います。当時は小5と小4の娘、4歳の息子を抱え子育ての真っ最中でした。娘が通っていたピアノ教室の先生にピアノを習い、励まされながらの毎日でした。4月に入学して間もなく体調不良になり、病院で検査。結果、手術の為入院することとなりました。約一ヶ月間学校を休む事を余儀なくされました。私はその時点で、保育士の資格を取る目標を諦めかけておりましたが、私より15才も若いクラスメート達が授業の内容を録音したテープを毎日私の病床に届けてくれました。そして、「諦めず頑張らしましょう」と励ましてくれました。彼女達の励ましのお陰で約一ヶ月後に学校に戻ることが出来、そして何とか2年で卒業して、保育士の資格を手にすることが出来ました。

その頃我が家では、住まいの建て替え工事が同時進行しており、新築の住まいの一角に20畳一部屋の保育室を併設して貰い、私が卒業と同時に、家庭保育室をスタートすることとなりました。4月のスタートには理由がありました。実習させて頂いた幼稚園の先生からの依頼でその先生の子どもの第1号として受け入れる約束をしていたのです。その為、在学中に調理士の資格と、自動車の運転免許も取り4月の開園に間に合う様にと、それは以前とはまるで違う目まぐるしい日々でした。その後口コミで徐々に保育園は園児が増えて1年後には10名位になり、3名の保育士さんに手伝って貰うようになりました。私は毎朝、5時頃には起きて園児用の給食の準備をして、午前7時には園児の受け入れをするのが日課でした。緊張の毎日でしたが、保護者の方から頂く感謝の言葉に支えられて何とか頑張りました。3年位で保育園も軌道に乗り、保育室を増築して、園児も20名位になりました。5年後にはさらに保育室をもう一部屋増築して園児も常に30名位になりました。保護者から就学前までの保育の要望がありましたが設備も未だ充分ではなく、2つの幼稚園に交渉して送迎を頼み4歳児からは親が希望する幼稚園に保育園から、通わせることにしました。

また、近くの畑を借りて、畑に野菜を植えて育て収穫し、新鮮な野菜を給食で食べたり、秋にはサツマ芋掘りを

して、園庭で落ち葉を集めて焼き芋にして食べました。食べきれない程たくさん収穫したので、各家庭に焼き芋を持たせ保護者にも食べて貰うのが、恒例行事になり、秋には皆が楽しみにしていました。また、子どもたちの五感を自然の中で育むことに力を入れておりましたので、週に一度は、近くの荒川公園に行き土手滑りを子どもと共に楽しんだことも、懐かしく思い出されます。また看護師として病院に努めていたお母さんから「一ヶ月に一回は当直があるので、子どもを泊めて貰えれば看護師としての仕事が続けられるので、お願い出来ないか」との相談が有りました。家族と話し合って、その要望を受け入れました。そこには私の原点である「人の役に立ちたい」が有ったからだと思います。そのお母さんは看護師として、今もお仕事を続けており、毎年、年賀状を下さり、その頃の保育に感謝の気持ちを伝えてきております。今年の年賀状にはその子が「父親になりました」と書いて有り我が子の事のように喜び合いました。また東北出身の方が実家で不幸があり両親で告別式に出席するために0才の子どもを連れてでは、お手伝いできないのでと相談され、お泊り保育をした事もありました。そんな保育を夢中で10年続けた時に保護者の方から「保育園の10周年の記念式典を行いたい」との提案が出されました。話を聞くと、それは保護者の総意で密かに準備されていたようです。私は驚きましたが、その時、自分の歩んで来た保育の道が保護者に喜んで貰えたのだなと思い、恥ずかしいやら嬉しいやらの気持ちで式典に臨みました。それは予想を超えた立派な式典でした。その時の記念写真を見ては、嬉しかった気持ちをかみしめております。その事が今でも私の保育を続ける励みにもなり支えに成っている原点と思われます。その後、保護者や職員に恵まれて家庭保育室を24年間続けて、今の認可保育園へと進んできました。現在園児103名の園長として仕事を続けておりますが、今年3月の卒園式の時に保護者から、「園長先生ここに保育園を造ってくれてありがとう」という感謝の言葉を頂きまして、また原点に帰った気持ちになりました。新たな気持ちになり保育をしておりますが、私の保育の原点はあの家庭保育室の頃に有った様に思います。



最後に

お二人に共通されることは、「困っている人がいたから」「人の役に立ちたい」という想いだと思いました。この想いがあってこそ、20年・30年と保育を続けてこられたのだと思います。「困ったことがあれば、あの保育園に行ってみればいいよ」というような時代で、そこで子どもたちが育ち、生きるために保育園が地域を支えてきた、また保育園も地域の人々に支えられてきた、という保育の原点が伺えました。

改訂「保育所保育指針」を読む

さいたま市私立保育園協会 会長 剣持 浩



今年の3月31日に厚労省から新しい「保育所保育指針」(以下「指針」)が告示された。前回は平成20年3月、10年ぶりの改訂となる。

「指針」は通達から告示化され、保育所の役割をはじめとして保育の内容や子どもの発達観、子ども像や親支援までその方向を示している。いわば、保育所保育における基本的な観点を展開しているものである。「指針」は平成11年、平成20年そして今回の改訂とつながるが、時代と共に「指針」の記述が変化してきた。

平成11年の改訂は

この時の改訂では検討委員会に次の事項が設定された諮問された。

「家庭の子育て機能の低下」「保育姿勢(固定的な男女の役割分業意識の押しつけ、体罰)の検討」「年齢区分が乳幼児の発達を考慮したものになっているか」「保育内容は最近の乳幼児の発達を考慮したものであるか」「一時保育、延長保育を指針にどう盛り込むか」「地域の子育て支援の扱い、どう指針に位置づけるか」「改訂された幼稚園教育要領との整合性」「SIDSやアトピーなど、子どもの健康安全にどう配慮するか」

このとき「子どもの権利条約」が批准されていることもあり、指針の総則に「乳幼児の最善の利益を考慮すると明記された。また、家庭の子育て機能の低下という状況に鑑み、保育所の役割について、地域住民に情報の提供、相談助言、地域における子育て支援の役割を明記した。このときの「指針」はその後の改定の骨格となつていてと考える。補足すれば、当時の保育所保育指針検討小委員会委員長であった石井哲夫氏は「保育所保育指針の解説」前文で保育所の問題点を次のように述べている。

「公的委託事業になったこと、保育者が分離的であったことから保育者の権威化をもたらした、保育の均質化により子どもに対して集団参加の強要や集団を一斉に動かす保育が強まったこと、限定的な保育所保育の内容により子どもの生活全体を援助や家庭への支援が弱かったこと」などを挙げている。

この「指針」は13章で構成されており、各年齢の保育内容が「発達の主な特徴」「保育士の姿勢と関わりの視点」「ね

らい」「内容」「配慮事項」というように、大変きめ細かに記述されており、石井氏が指摘しているように保育所が家庭養育の補完的な役割に限定せず、地域の子育てに対する養育支援・育児支援(「指針」では「地域における子育て支援」として保育所の役割を明確にした。

平成20年の改訂では

平成20年3月の改訂では第7章にまとめられた。

保育所の役割、保育所の社会的責任について述べており、子どもの発達過程は前回より簡潔にまとめながらも、幼稚園教育要領との整合性を図るために、共通の記載となった。

総則では「保育所の役割」として①保育所は・・・子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場が無ければならない。②保育所は・・・養護と教育を一体的に行うことを特性としている。

③保育所は・・・保護者への支援・・・地域の子育て家庭に対する支援を行う、④保育士は・・・保育所の役割・機能が発揮できるよう・・・専門的知識、技術及び判断を持つて・・・保護者に保育に関する指導を行う、として保育所の役割と同時に社会的責任を明確にした。第2章の「子どもの発達」では前回の厳格な発達区分を改め「おおむね〇歳」と表記し、簡潔にまとめられている。しかし、前回の「指針」にあった「保育士の姿勢と関わりの視点」は消えている。章立ても13章から7章へとコンパクトになった。

今回の改訂

章立てでは第7章から第5章へと、さらにコンパクトにまとめられた。このなかで、なにか変わったかについてふれたい。

①「保育の内容」は未満児と幼児を区別し未満児の記述については乳児と、1歳以上3歳未満児としてまとめている。

これまで、0歳から就学前までの発達過程は前の「指針」を振り返ってみてもわかるように発達過程は未満児と幼児と区別すること無く、発達を連続的にとらえて養護と教育を一体的に捉えて「保育」という概念で展開されてきた。このたびの改訂の大きな変更は、総則の「保育所の役割」の中でこれまでと同じように「養護と教育を一体的に行う」としながら、実際の記述では養護と教育の分離に着手したと言える。これは委員会でも議論になったよ

うだが、制度変更に伴う小規模保育に配慮するということが背景にあるようだ。しかし、施設や制度によって「指針」が変更されることについては、「指針」をどう考えるかという検討も必要である。

②さらに、総則の4の項で「幼児教育を行う施設として共有すべき事項」が新しく書き加えられた。「育みたい資質・能力」では「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力の基礎」「学びに向かう力、人間性等」としている。

③「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が加筆され「健康な心と体」「自立心」「協同性」「道徳性、規範意識・・・」「ことば」「豊かな感性と表現」と10項目が掲げられた。

④小学校との連携については「小学校教育が円滑に行われるよう」「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を共有するなどの連携を図ることとしている。

このように、小学校への接続が具体化され「育って欲しい姿」がなぜ表記されることになったのか?その背景には中教審教育部会の動きと無関係ではない。幼稚園、小中高の学習指導要領改訂に向けて平成26年11月の中教審諮問に始まり27年の論点整理、28年の審議まとめ29年改訂という動きと連動していたことである。文科省の3月31日の通知(「幼稚園、小学校、中学校指導要領の全部を改正する告示等の公示について」)の中で「何ができるようにするか」を明確化し、「①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性」の三つの柱で整理した、としている。これまで、文科省から保育については到達目標が無く、数値化もされない、これでもいいのかという意見があった。通知では幼稚園における主な改善事項と「指針」とは見事に重なっている。

今回の「指針」改訂はこれまでとは明らかに違う内容であり、今後現場では混乱をもたらすかもしれない。それは、乳幼児の生活と発達がこれまで実践されてきたように、保育する側と子ども達が一体感を持ちながら自分という価値、自己形成が育まれるように保育が創造されてきた。健全な心身の発達は友だちとの交わり、あそびで展開される発見や学びが、「何が出来ようようになるか」「望ましい姿」という就学前教育に矮小化される恐れはないだろうか?このことを指摘しておきたい。

第9回定時総会

平成29年5月18日(木)

さいたま市南区武蔵浦和コミュニティセンターにおいて、さいたま市私立保育園協会の第9回定時総会が開催されました。ご来賓のさいたま市幼児未来部部長金子博志氏よりご挨拶を頂きました。来賓12名をお迎えし89園が出席しました。

剣持浩会長は、待機児童解消に向けて、さいたま市でも施設整備が進んでいる中で保育士確保の問題や保育士の処遇改善にかかわる問題に協会として取り組んできこと等、ご挨拶されました。

その後平成28年度事業報告、収支決算報告及び監査報告、平成29年度事業計画及び収支予算について、1号議案から4号議案が可決され、第9回定時総会は無事に閉会しました。

役員改選



この度、長年理事・副会長を努めてこられたためだか保育園の黛先生が理事を降りられることとなりました。お疲れ様でございました。

代わりに、エンゼル保育園の和田先生が理事・副会長となります。

また、事務局に桜花保育園の田仲先生が入局されました。宜しくお願致します。



新会員紹介

社会福祉法人なかよし愛育会 北浦和駅前保育園

園長…伊藤元子
所在地…330-0073 浦和区元町2-1-3ライオンズプラザ元町シティ - 3F

社会福祉法人若葉会 あすなろ若葉保育園

園長…増田美枝子
所在地…337-0042 見沼区南中野605

社会福祉法人絆友会 たじま絆保育園

園長…川名美雄
所在地…338-0837 桜区田島3-13-4

社会福祉法人いなほ会 わらしべ第2保育園

園長…船崎澄子
所在地…338-0832 桜区西堀8-3-13

社会福祉法人七子会 野の花すみれ保育園

園長…三次花恵
所在地…331-0052 西区三橋5-641-3

社会福祉法人安心会 大宮すこやか保育園

園長…田代澄夏
所在地…330-0843 大宮区吉敷町4-197-2

社会福祉法人ことの葉会 新都心ひなた保育園

園長…柳原和歌子
所在地…330-0835 大宮区北袋町2-343

社会福祉法人みずほ育伸会 みずほ保育園大宮天沼

園長…松島弘幸
所在地…330-0834 大宮区天沼町1-505-2

社会福祉法人まれ愛恵会 大成たいよう保育園

園長…元木貴絵
所在地…330-0852 大宮区大成町2-161-1

株式会社リトル学園 リトルやまゆり保育園

園長…森田実希
所在地…338-0001 中央区上落合9-17-1

株式会社ハッピーストーリー 東大成ひなた保育園

園長…森川佳織
所在地…330-0852 北区東大成町1-656-1

社会福祉法人創人会 きらり遊愛保育園

園長…笠原栄希
所在地…336-0967 緑区美園3-8-3

株式会社ゆかり 美園にじの子保育園

園長…長山恵里子
所在地…336-0962 緑区下野田450

研修部会

部長 吉川 美喜江

研修部では、昨年度から人気があった研修を引き継ぎ、より充実した内容となるよう計画を進めています。研修に参加した保育士が専門知識を深め、また時にはリフレッシュして各保育園に持ち帰ることで、それぞれの保育園にとって大きな実りとなりますように、皆様と共に盛り上げていきたいと思っております！

- ・主任研修…保育園の要！現場のリーダー！求められるスキルや人材育成について
- ・保健衛生情報交流会…安心、安全な保育のために 園長、保育士、看護師の意見交換
- ・保育園見学会…他園の良さを知ることで自園の良さにも気付くマジック!!
- ・保育士のための自然体験講座…保育士になった喜びを再確認！
- ・さいたま市保育研究大会、保育士等研修会…著名な講師の先生によるお話や各園の発表等を通して刺激し合えるチャンスです！

年間を通して多くの皆様にご参加頂きますよう、ご協力宜しくお願い致します。

研修報告



平成29年5月23日埼玉県自然学習センターにて、「保育士のための自然体験講座」が開催されました。この研修は年4回四季を通して行っております。

講座終了後、「たくさんの自然物に触れることは難しいが、自分の園でできることを考え子どもたちに自然の楽しさを伝えていきたい」等の感想を頂きました。ぜひ、日常の保育に活かしていただきたいです。

広報部会

部長 相原 由佳子

保育情勢・子育て支援に関する情報を会員の皆様に提供していきます。さらに協会各部との連携を図り、食育や研修の内容、アンケートの集計結果、行政関連等、活動内容を分かりやすく、お伝えしたいと思います。こんな情報がほしい、記事にしてほしいことなど皆様のご要望がありましたら、できるだけお応えしていきたいと思っております。会員園の活動内容などご紹介させていただきますので、お写真の掲載等、ご協力よろしくお願い致します。

年間活動計画

- ・年2回の広報誌の発行(7月・1月発行予定)
- ・広報部会(発行に向けての企画・構成・写真の選考)
- ・研修等への参加や取材

調査・研究部会

部長 小笠原 夕子

調査研究部では調査研究する内容を決定することができず、なかなか活動するまでにいたりませんでした。今年度から理事会の方々との話しを密にさせていただき会員の皆様が知り得たい情報を発信していきたいと思っていますのでアンケートかFAXが届きましたらお忙しいとは思いますがご協力お願い致します。

予算対策部会

部長 木村 和孝

毎年のアンケートにご協力、ありがとうございます。公定価格等の一部改善及び子育てしている母親の声により、各党が保育園に対して少しずつではありますが前向きな考え方が出てきております。また、昨年度は要望書の説明にあたって、行政側の担当者も参加していただくことができ、保育園への関心の高まりを感じることができてきております。一方、チーム保育士加算の問題や、処遇改善等、厳しい状況の中で苦勞されていることはまだまだ多いことと思います。昨年同様引き続き、財政だけではなく、行政の事務業務の中で可能な要望を今年度も強く要望すると共に、皆様からのアンケート・要望を踏まえ、本年度もさいたま市及び議会の各会派に要望・勉強会を行って参ります。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

食育部会

部長 大塚 弘美

「食育」は生きる力の基礎を育む上でとても大切なものです。食育部会は「食育」を通して、子どもたち一人一人が心身ともに豊かに、そして健やかに成長していくことを目標に活動していきます。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

●平成29年度 スケジュール

- ・9月 調理講習会の開催(給食従事者対象の講習会)
- ・2月 食育事例発表会及び勉強会の開催
(給食従事者または食育担当者)
- ・さいたま市民医療センターにおいての食物経口負荷試験の見学 6月7日(水)8日(木)、7月5日(水)6日(木)実施

●その後随時参加予定

- ・さいたま市食育推進協議会委員受嘱(平成29年4月1日から二年間)協議会への出席(部長 大塚弘美参加)
- ・定例会においての受付業務の協力
- ・その他、必要に応じて部会・研修会等の開催

わくわくが いっぱい!

未来ほしの子保育園 水遊び



わ〜噴水みたい! 気持ちがいいね。

たじま絆保育園



第二園庭では、子ども達が元気一杯走ったりストライダーに乗ったりして過ごしています。年長児は、卒園までに自転車にも挑戦していきます。

ふたば保育園



はじめての公園で楽しいな

大宮すこやか保育園 新聞いっぱい



2歳児 新聞いっぱいビリビリしてお友達にもかけちゃうもんね。

みう保育園



いっぱい実を付けてくれますように!

編集後記

暑い日が続いております。プール開きも行われ、子どもたちは思う存分水遊びを楽しんでいます。先日、保護者からラッシュガードの着用を要望されました。昔に比べると紫外線量もかなり増え、皮膚がんの恐れもありますから心配です。以前は真っ黒に日焼けすることが誇らしいことでしたが・・・。

蚊に刺されることも夏の風物詩という感じでしたが、今はデング熱やジカ熱などの心配もあり、園庭やお散歩での虫よけ対策も大変です。昔のように手放して遊ぶことができなくなってしまった、この状況にも今と昔の違いを感じました。

子どもたちが安心・安全に遊べるように一層配慮していきたいと思っています。

広報部 相原由佳子

保・育・園・紹・介



茶々すずや保育園 園長 勝野 京子

茶々すずや保育園は、開園して今年で10年を迎えました。南与野駅より、徒歩8分のJRの高架下に位置しています。茶々保育園グループの創立園は、人間の茶畑の真ん中に保育園を作ったというところから、茶々という名前がついています。茶々すずや保育園では子どもたちと一緒にお茶会を開いたり、保護者の方にお茶のおもてなしをしたりしています。茶々保育園グループのコンセプトは、「オトナな保育園」です。保育園は、小さい子どもの育つ場所です。しかし、幼稚な場所にする必要がないと考えています。子どもは大人の想像以上に能力や感性を備えているからです。そして、大人も充実した時間を過ごしたり、子どもと一緒に成長できたりする場所という捉え方です。

保育では、一つひとつ丁寧に愛情をこめたおもちゃを手作りしたり、暮らしに必要な手順をゆっくりと身につけていけるように暮らしのしぐさを伝えたりしています。

保育の目標は、「おばあちゃんのまなざしを持つこと」。いつも優しく見守ってくれる頼りがいがあり、懐が深い。卒園していった子どもや保護者が「茶々って、おばあちゃんみたいな存在だったね」と思い出してもらえるような場所でありたいと思っています。そして、子どもたちが伸び伸びと元気に毎日を過ごしているのも、日頃から地域の方に声をかけて頂いたり、行事などでご協力頂いたりしているからこそと感謝しています。これからも、子どもたちの成長を保護者や地域の方や職員と共に応援し続けていきたいと思っています。



めだか保育園 園長 黛 秋代

めだか保育園は、社会福祉法人こぐま会の3つ目の保育園として創られました。当初、公立保育園では産休明け、長時間、障がい児保育は行われていず、困った父母達が、自分達の手で保育園を作ろうと、保育者と共同で保育園を作り、運営し、その後、社会福祉法人となった保育園です。たくさんの方々から多くの応援を受けてきた保育園なので、地域の子育て支援を毎週火・木と行ってきました。

園舎は、子ども達が主体的に、自らの興味を持って動き出せるように保育室は園庭に向かって自由に出入できるように作られています。また、各保育室の前には縁側があり、各部屋を自由に歩き来できるようにもなっています。私達の遠い祖先が水の中から生まれ、進化してきたように子ども達は水が大好きです。水や砂、土にたっぷり触れ、創造力を膨らませるように遊び場の工夫を保護者と一緒に環境を整えています。(アスレチック、プールなど)

子ども達が遊びや生活を通して、やってみたい、しりたい等の要求を満たせるよう、また、年長児の春、夏、冬に行う3回の合宿も親達の出番があり、みんなでクラスの子ども達を育てています。

みんなで作り、みんなで育ちあうめだか保育園も今年で10周年を迎えます。



あいう園美園 浦和美園駅前保育園 園長 相原 由佳子

あいう園美園は、平成20年4月に法人の2番目の園として開園いたしました。浦和美園の埼玉高速鉄道地下鉄の上に建つ園舎は細長く、園の外観の写真を撮る時はいつも苦労しています。でも、園内にはなが〜い廊下があり、子どもたちには丁度いい雑巾がけコースとなっています。また自然にたくさん触れさせてあげたいという想いで、この地に開園しましたが、ここ数年でマンションや住宅や店舗など開発が進み園のすぐ裏を流れていた川も道路になってしまい、ザリガニ釣りができなくなってしまったのが残念でなりません。とはいえ、子どもたちは毎日元気いっぱい！園庭での泥んこ遊びやお散歩、園バスに乗って園外保育を楽しみ、園庭や駐車場に植えているドドメやザクロ・ミカンなどの実がなると収穫をして皆で食べます。

子どもたちにとっても職員にとっても「あいう園は第二のおうち」となり、楽しく通える保育園・生き生きと働ける保育園を目指しています。また、子どもたちが卒園した後もその子の成長を見守ってきたいという想いで、毎年夏休みには卒園児たちが集まり同窓会・お楽しみ会を行います。みんな元気に逞しくなって帰ってきてくれるのでうれしい限りです。



みう保育園 園長 石合 一賀

みう保育園は、平成22年4月に社会福祉法人祥栄会の第1園目として埼玉高速鉄道の浦和美園駅より、徒歩3分の場所に開園しました。定員60名の保育園です。保育園の周辺には、イオンモール浦和美園店、埼玉スタジアム2002があります。最近、開発が著しく進んで来ましたが、4年後には、大きな総合病院も出来るようです。

保育目標は、

一人々を大切に保育、明るい雰囲気の中で情緒の安定を図り、健康な体づくり、よりよい生活習慣を育成する。

また、周辺も整備されてきて天気の良い日にはお散歩に行く様にしています。園の周りを散歩したり、4.5歳児埼玉スタジアム(約1キロ)までの遊歩道を散歩しています。又、0.1.2歳児は、リトミックを月2回、3.4.5歳児は英語教室を月4回、年長組は、茶道教室を月1回行っています。卒園式の時に保護者の皆様に花茶を点てています。季節ごとの行事を大切に子どもたちに体験させています。

特に、10月のハロウィン行列・お正月のお餅つき・節分の豆まき(リアルな赤鬼の着ぐるみを着て登場)は力を入れています。

また、近くの保育園さんとも交流をして近くの公園で合同で遊んだりしています。子供たちの成長の大切な時期でもあることから当園では、食事のバランスを考えながら、自園調理給食を提供し、行事食にも取り組んでいます。

毎年、年中さんは野菜を園庭の一部に植えています。みんな毎日水やりをして成長を観察しながら早く実がなると願っています。今年はミニトマト・ピーマン・オクラ・ナスを植えました。年長さんは、あさがおを玄関前にプランターで育てています。

保護者の皆様には、子どもをみう保育園に通わせて良かったと言って頂ける様に職員一同全力で、サポートしていきたいと思っています。